

県独自の認知症マークを實現

公明党 鈴木ひでし

認知症の人と家族の応援者として、全国的に取組が進む認知症サポーター。その養成講座修了時に配布される「オレンジリング」に替わる神奈川県独自のマークが、いよいよ実現します。

年6月の県議会第2回定例会において、私が黒岩祐治知事に提案したものです。

誰でも受講できる認知症サポーターは、県内で36万人を超え、小学生や高齢者まで幅広い世代が資格を取

得ています。広がりを見せる中、認知症への理解を一層深め、サポーターのさらなる活動につなげるため、県独自に象徴的なものが必

要だと提言したのです。スが想定されています。若い力でデザインを

この県独自マークは、昨

年6月の県議会第2回定例会において、私が黒岩祐治知事に提案したものです。

誰でも受講できる認知症サポーターは、県内で36万人を超え、小学生や高齢者まで幅広い世代が資格を取

得ています。広がりを見せる中、認知症への理解を一層深め、サポーターのさらなる活動につなげるため、県独自に象徴的なものが必

要だと提言したのです。スが想定されています。若い力でデザインを



神奈川県議会議員4期
第109代県議会副議長、県
監査委員、公明党県議団
長などを歴任。現在、環境
農政常任委員会、安全安心
推進特別委員会に所属

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>



具体的な活用法としては、例えば若年性認知症の人が周囲に疾患を知ってもらうためや、介護する家族が協力を得やすくするため、認知症サポーターなどが活動の際にオレンジリングに加

え活用するといったケースが決定され、6月から啓発活動やグッズ作成などが始まる予定です。認知症の人や支援する方々の活動を支援できるように、実績を作った人間として、しっかりと後押しして参ります。

学生に意義を伝えました